



# ビチェリン・ライフセービング部

ビチェリン・アジアパシフィック&ミドルイースト（株）



# 概況

---

設立年月日                      令和2年7月23日

---

代表者                              南里 清久

---

部署名                              ライフセービング部

---

## 目的

現在、海辺を守るライフセーバーは年々減少傾向にあります。  
その原因は社会人になると、会社という社会環境から夏休みを取り、継続するということが非常に困難になり、ライフセーバーとしての活動を辞めてしまうことが多く、そのため海水浴場によっては常に深刻な人員不足が問題となっています。  
そのため弊社ではCSR事業の一環として、ライフセービング活動をサポートし、収入の安定化を図り、人員不足で悩む海水浴場の問題を解決、全国的な活動に広め、ライフセーバーの社会的地位の向上を目指していきます。

---

# 目次

1. ライフセービングとは
2. ビチェリン ライフセービング
  - ・ 設立の思い
  - ・ サポート体制
  - ・ スタッフの声



# ライフセービングとは

ライフセービングとは、水難事故防止の為にを行う監視活動や、一次救命処置の方法・海の楽しさや危険性を子供たちに伝えるジュニア教室、海岸の環境保全の為にビーチクリーンなどの活動を行うことです。

ライフセービング活動は海に限った活動ではなく、日常生活の中でも家族、友人、職場の方々のことを思い行動をすることもライフセービング活動の一部です。

また競技として、ライフセービングの訓練・技術を昇華させたものが「スポーツとしてのライフセービング」です。

人命救助の技術向上、オフシーズンのトレーニングを兼ねて、サーフ・ライフセービング（海における救命活動）技術を競うスポーツとして誕生し、

現在、ライフセービングの発祥の地であるオーストラリアでは国技となっています。



# ビチェリン・ライフセービング部

## ビチェリンの新たなCSR活動



ビチェリンはライフセービング部を設立いたしました。  
ライフセービング活動をCSR事業の一環とし、活動日を業務日と認定して扱う、  
日本で初めての取り組みです。

# 設立の思い

現在、日本では年間約6000万人以上が海水浴場を利用されています。

(国土交通省HP参照)

そして、その利用者の安全を守る為の監視活動にライフセーバーが不可欠です。

しかしながら、ライフセーバーの中心は、各学校の部活動やサークルに所属する学生であり、海開きとなる7月下旬の頃は期末試験や就職活動の末期と重なります。

そして社会人になると、会社という社会環境から夏休みを取り、その大切な夏休みをライフセービング活動の為に使うという事で、活動を継続することが困難になり、ライフセーバーを続けられないというケースが非常に多くみられます。

私は、ライフセービング活動を社会人になってから始め、毎年夏になると監視活動に参加しています。それは「人命を救う」という素晴らしいスピリットやそこで教わるヒューマンスキルに共感したからです。2019年に、ライフセービング活動をしている千葉県にて台風の影響で、海水浴に来ていた方の中から多数の事故が出たことがありました。学生たちと救助活動に参加し、そこで多くの問題点に直面しました。まず、時に悲惨な状況を目の当たりにするライフセーバーたちが若い世代で形成されているため、メンタルのケアまで行き届いていないこと。そして、社会人が少ないためにおこる圧倒的な人員不足です。共に活動したからこそ気付いたこの問題に「自分ができることはないだろうか」と考えました。

そこで、2020年度より新入社員として迎え入れた元ライフセービング部の方々を、会社組織として経済的立場からライフセービングを支援し、CSRの一環として休日の取得ではなく、業務日として活動できるようライフセービング部を設立しました。このようなカタチで、ライフセーバーの存在意義を職場が認め、そして社会が認めていけるような社会的地位向上の一助になることを願っています。

代表取締役社長 南里清久



## サポート体制

監視活動を業務日として扱う

競技のサポート

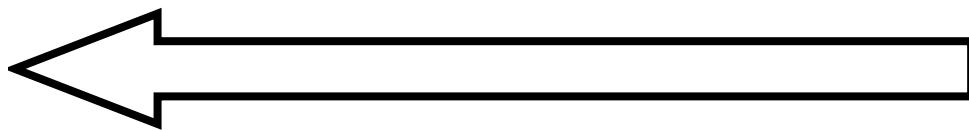
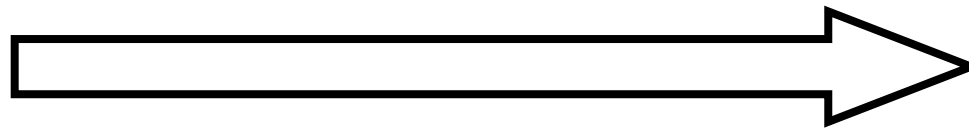
公休日の調整

# 監視活動を業務日として扱う

例)



海水浴場での監視活動  
(ライフセービング活動)



給与



ライフセービングの監視活動を、  
ビチェリンとしての業務日として扱う

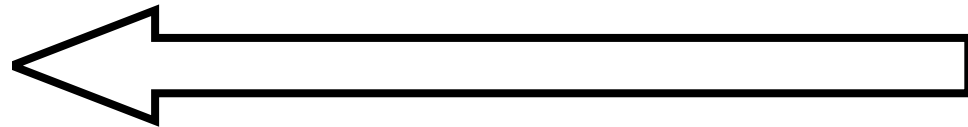
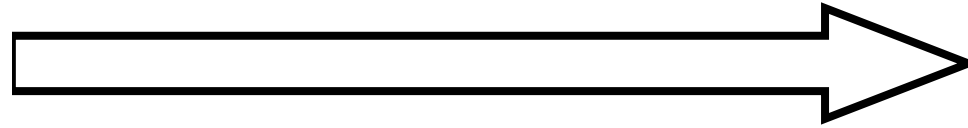


# 競技のサポート

例)



大会や強化合宿への参加



資金や環境のサポート



ライフセービング競技のアスリート支援

# 公休日の調整

例)



【通常】

10 October (神無月)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

○ : 休暇

【ライフセービング活動時】

10 October (神無月)

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

○ : 休暇



ライフセービング活動に向けての個人練習や  
自主練など、月の公休日を調整できる

# スタッフの声

私は大学時代から続けてきたライフセービングを就職した後も継続して行える環境と、ライフセービングに対して理解のある企業で仕事をしたいと考えていました。

新卒で就職した企業では、自分の休みを利用してライフセービング活動に参加しており、時間・体力的にも厳しく仕事とライフセービングの両立をうまく続けることができませんでした。私の周りにも実際、大学卒業を機にライフセービング活動から離れてしまう先輩方が多くいました。

なので、このような企業の取り組みとして、ライフセービング活動を継続して行うことができるのはとても嬉しく感じます。世間的に、ほとんど認知されていないライフセービング活動に対して、理解していただけるのは本当にありがたいと思っています。

ライフセービング業界は、ライフセービングの認知度の向上を目的として活動していますが、数年間あまり変化の無い状況です。

会社の取り組みとしてライフセービング活動を行えることは、社会的に認められた一例であると思います。このような企業が増えることにより、ライフセービングの社会的地位が向上し認知度の向上につながればと考えています。

また、監視活動だけでなく大会の際にお休みを調整して頂けることも大変嬉しいです。今後は監視活動や大会も大切にしながら、一次救命処置の講習会を企業や社員研修で行い、ライフセービングの普及に努めていきたいです。

野々村 勇二



## ● 経歴 ●

国際武道大学 ライフセービング部

第32回全日本学生ライフセービング選手権大会

ボードリレー：準優勝

オーシャンマンリレー：第3位

卒業後、ライフセービングを探求するため、  
本場オーストラリアへ留学

# スタッフの声

私は大学卒業後、ライフセービング活動から離れようと考えていました。学生時代、様々なOB・卒業生の話を聞くと、消防職員等の公務員職であれば続けることも可能ですが、一般企業などの休みが不規則な環境下ではライフセービング活動を行うことは難しいと聞きます。

しかし、ライフセービング活動が認められている当社では、会社の休暇とは別にライフセービング活動を行い、さらに、給料に関して減給等がないため、社会人でも続ける事が可能になります。

私は学生時代、監視活動と共に競技会にも力を入れていました。社会人でも競技会を続けたい意思はありますが、どうしても学生時代と比べ練習量が減ってしまう中、納得のいく結果が出せるか心配でした。出場するからには中途半端な結果ではなく、できる限り上位を目指したいという考えがありました。そのため練習は必要不可欠になってきます。

当社では、競技会出場の際や練習時の休暇調整を行うことができるため、練習時間の確保が十分にできる環境となっています。認知度がまだ低いライフセービングにここまでの優遇ができるのは、今後の期待と活動の理解があるからできることだと思います。私はこの環境に感謝し、結果を残すことで多くの方に当社を知っていただきたいと思っています。

ライフセービングは、監視・大会の他にも様々な活動を行っています。当社を起点に、この先、多くの方々に社会的認知をしていただき、ライフセービング活動の素晴らしさを知っていただけたら嬉しい限りです。

吉川 喬哉



## ● 経歴 ●

昭和第一学園高等学校 ライフセービング部

第6回全日本ユースライフセービング選手権大会ビーチフラッグス:優勝

第7回全日本ユースライフセービング選手権大会ビーチフラッグス:優勝

国際武道大学ライフセービング部

第17回オーシャンサーフチャレンジin白浜2016ビーチフラッグス:準優勝

第31回全日本学生ライフセービング選手権大会ビーチリレー:優勝

第32回全日本学生ライフセービング選手権大会オーシャンマンリレー:3位

第33回全日本学生ライフセービング選手権大会ビーチフラッグス:優勝

第34回全日本学生ライフセービング選手権大会ビーチリレー:3位

# 今後の展開

## 経済的安定

CSR事業の一環として  
ライフセービング活動  
をサポートし、収入の  
安定させる。



## 地域貢献

社会人の人員不足で悩  
む海水浴場の問題を弊  
社支店を通して解決。



## 全国の活動

関係企業にはたらきか  
け、全国的な活動を目  
指す。



## 社会的地位向上

企業(職場)がライフ  
セーバーの存在意義を  
認めことによる社会的  
地位の向上。